

6 学校教育

2019年度（令和元年度）主要施策

《「たくましく生きる力」を育成する学校教育の推進》

1 自ら考え学ぶ授業の推進

(1) 行動化できる学びを確かにする小中一貫教育の推進

全中学校区で、小中一貫教育カリキュラムに基づき「自ら考え学ぶ授業」づくりに取り組み、21世紀型“スキル&倫理観”を育て、学んだことが行動化できる「福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども」を育てる。

①持続発展教育（ESD）推進事業

人格の発達や人間性及び「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育む持続発展教育（ESD）を推進する。

②小中一貫教育推進事業

教員の授業づくりの時間を確保するため、小中一貫教育推進補助員や校務補助員を配置するほか、学校図書館を活用した学習活動や環境整備等の支援を行う小中一貫教育学校図書館補助員を配置する。

③小学校「学びづくりフロンティア校」事業

「子ども主体の学び」全教室展開に向け、2小学校の子どもが学ぶ姿を引き続き、観察・記録・分析する。また、これまでの研究で明らかになった「子どもの疑問や思考は教科・学年の枠を超えながら広がり・深まる」ことを踏まえ、7小学校がパイロット校として、教科横断・学年縦断的な教育課程を編成し、実施・評価・改善することを通して子どもたちに確かな学力を付ける。

④中学校「教科の専門性パワーアップ」事業

民間企業が開発した、子ども主体の学びについて理論や方法を体験的に学ぶ教職員の研修「21世紀型ティーチャーズ・プログラム」及び企業探究、進路探究等、4つの探究プログラムから1つを選択し、生徒は答えのない問いに協働して取り組む「探究学習プログラム」を導入し、学習意欲や主体的に学び続ける力を高める。

⑤「学力の伸びを把握する調査」事業

同一児童生徒の学力や学習に関する意識等の経年変化を把握し、各学年の学習内容や系統に応じた指導の在り方を明らかにする。

⑥学校図書館環境整備事業（新規）

蔵書整理を行い、新刊等を購入するとともに、机・椅子等の配置を工夫し、小中学校・義務教育学校の図書館が、安らぎのある場や知的好奇心を醸成する開かれた学びの場となるよう、環境の充実を図る。

⑦学校経営戦略推進事業

校長のリーダーシップのもとで、児童生徒や地域の実情に即した自主的・自律的で効果的な教育活動を推進するため、各中学校区からの提案を事業化し、特色ある学校経営を支援する。

実施中学校区…駅家中学校区、精華中学校区、大成館中学校区

⑧芸術文化体験事業

小学校、義務教育学校4年生全員が、優れた芸術文化に触れる体験を通して、豊かな創造力・想像力や思考力等を養う。

⑨県指定事業（委託）

○学力向上推進指定校事業

主体的な学びを促進するため、市内4中学校区を指定し、小学校と中学校が連携して、教科指導と生徒指導の両面における指導方法等に係る実践的な研究を進め、その成果を検証、普及することにより、児童生徒の学力の向上を図る。

（2）行動化できる学びを牽引する中高一貫教育の推進

生徒一人ひとりの進路実現を図るため、教育環境及び指導体制の充実を図り、6年間の計画的、継続的な指導を行う。

①学力向上推進事業

学習合宿や難関大学合格支援プログラム等を通じて、生徒のキャリア開発能力の育成及び学力向上を図るほか、教職員の指導力向上のため、研修や研究会を実施する。

②グローバル人材育成事業

高等学校の生徒を対象に、地元企業の研究・学習を通じて生徒と地域社会を結びつけることにより、生徒に福山に対する愛着と誇りを育てるとともに、地域課題解決能力の育成を図り、新たな学力観に基づき進路選択ができるようにする。

また、海外への語学研修や姉妹校等との国際交流・国際体験を通して、次代においてグローバルな社会で活躍する人材を育成する。

（3）外国語教育・国際理解教育の推進

グローバル化の進展に伴い、子どもたちが主体的・積極的に国際社会に貢献していくために、自国や地域の伝統文化を理解し、世界の多様な伝統や文化、考え方を受け入れながら、コミュニケーションを図ろうとする態度や多様な価値観を育成する。

①英語教育推進事業

児童生徒が、授業だけではなくクラブ活動等学校生活の様々な場面で直接異なる文化や言語に接する機会を増やすため、外国語指導助手（ALT）21人（8月からは20人）を小学校59校、中学校33校に月4回程度派遣、福山中・高等学校、鞆の浦学園に1名常駐する。

②北京市教育交流推進事業

中・高校生、義務教育学校後期課程の生徒が12月下旬に北京を訪問し、教育交流として学校を訪問し、授業参観、意見交流及び異文化体験を行うことにより、これまで身に付けた力を試すとともに、多様な価値観に気づき、自身の視野を広げる。

（4）教科の専門性を高める教職員研修の充実

全ての教職員が、「自ら考え学ぶ授業」をつくるために、教科の専門性を高める教職員研修の充実を図る。

①全校一斉研修の実施

全ての教職員が、「自ら考え学ぶ授業」をつくるために、小学校、義務教育学校前期課程は各学校の研究教科等を中心に、中学校、義務教育学校後期課程は各教員の専門教科について、原則毎月第3木曜日の午後に一斉研修を行う。

②教職経験に応じた研修の実施

初任者や中堅教諭等、教職経験に応じて、日々の授業づくりのための教材研究や教材分析に焦点をあてた研修を実施する。

また、福山市立大学と連携し、現職教員を大学院（修士課程）に派遣し、本市教育研究の推進や指導的な役割を担うことのできる人材の育成を図る。

(5) 教育課程を中心に据えた学校経営

全小中学校、義務教育学校において校長のリーダーシップのもと、「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向け、編成した教育課程を基に、日々の授業を中心とした教育活動の評価・改善を進めるために、校内研修を実施する。

2 市民一丸となった取組の推進

(1) 学校・家庭・地域で目標やビジョンを共有して進める教育活動

学校関係者評価において、学校が教育活動を振り返って成果、課題を分析し、改善案を示すことを通して、保護者や地域の方々と目標やビジョンを共有する。

(2) 市民一丸の機運の醸成

①キャリア教育推進事業

全ての小中学校においてカリキュラム・マップを作成し、児童生徒の社会性や地域に貢献しようとする意欲や態度を育てるキャリア教育を教育課程に位置付ける。

○職場体験活動「チャレンジ・ウィークふくやま」

中学校・義務教育学校後期課程が、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達段階と特性を考慮して、日々の授業等で身に付けた知識や技能を生徒が実際に仕事をする中で活用し、課題を発見したり、新たな価値に気付いたりするとともに、体験で得たことが学校での学びの動機付けにつながるよう、学校・家庭と事業所（地域）の三者が連携して実施する。

②スクールサポートボランティア事業

学校教育活動の充実及び地域の教育力の活性化を図るため、地域住民や保護者のボランティアが、登下校時の見守り、総合的な学習の時間に係る支援、読み聞かせや図書整理といった学校図書館業務支援等の活動を行う。

③地域学習活動支援事業

地域に在住している退職教職員や地域住民等の支援を得て、小学校4年生から6年生までの児童を対象に国語・算数を中心とした基礎的な内容の学力補充を行うとともに、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り、中学校での学習の基盤を作る。

- ・放課後チャレンジ教室（26教室）…小学校の空き教室等で週1回実施。

実施する小学校に在籍する児童が対象。

- ・土曜チャレンジ教室（3教室）…中学校区の公民館等において週1回実施。

中学校区の小学校に在籍する児童。

④福山学校元気大賞の実施

児童生徒が社会や誰かのために主体的に貢献した活動、教職員の丁寧な取組及び学校と地域が一丸となった教育活動等について、教育長が学校等を直接訪問し表彰する。

3 子どもの学びを支える教育環境の整備

(1) 望ましい学校教育環境の整備

①学校規模・学校配置の適正化

○学校再編事前事業

遺芳丘小学校及び駅家北小学校の2020年（令和2年）4月の開校に向け、開校準備委員会の開催、児童の事前交流事業の実施、教育課程の編成、校舎の改修等を行う。

○義務教育学校整備事業

- ・（仮称）千年小中一貫教育校の整備について、地域説明会や用地の取得、校舎の設計等を行う。

②学校施設の耐震化

学校施設の耐震化については、耐震補強工事と併せ、校舎等の老朽化に対応すべき建替え等も含めて、計画的に進める。

○校舎耐震改修

- 小学校…西小，南小，金江小，桜丘小，野々浜小，山手小
- 中学校…大成館中，誠之中

○校舎改築

- 小学校…東小，加茂小
- 中学校…城北中，神辺中

③ICT教育機器の整備

次期学習指導要領全面实施に向け、児童生徒の主体的な学びづくりを推進するための教育環境を整備する。

○小学校56校

- ・普通教室（5・6年生）
 - …電子黒板機能付きプロジェクター，実物投影機，教員用タブレット端末
- ・特別教室（音楽室）…電子黒板，実物投影機，教員用タブレット端末
- ・特別支援教室…児童用タブレット端末
- ・屋内運動場…電子黒板，教員用タブレット端末

④中学校完全給食に向けた取組

「福山市立中学校完全給食実施方針」に基づき、2020年度（令和2年度）の全校実施に向け順次整備し、新たに7校で給食を開始する。

- ・2019年度開始校…城東中，鳳中，誠之中，鞆の浦学園，向丘中，東朋中，神辺西中
- ・親校（小学校）等の給食施設及び子校（中学校）の配膳室等整備
- ・給食搬送にかかる車両及び備品等購入

⑤運動場敷地整備

学校活動の改善を図るため、運動場敷地の拡張を行う。

道上小学校

⑥屋内運動場床改修

児童生徒の学習環境の改善を図るため、老朽化した床の塗装替え又は全面張り替えを実施する。

小学校3校，中学校1校

⑦空気調和設備の設置（新規）

児童生徒の健康を守るとともに、学習環境の改善を図るため、小中学校の全ての普通教室及び特別教室の一部に空気調和設備を設置する。

⑧多様な学びの場の整備（新規）

○特認校及びイエナプラン教育校の設置に向けた準備

- ・特認校…集団への適応が難しいなど、教育上配慮が必要な子どもたちを対象とした小中一体型校
- ・イエナプラン教育校…異年齢によるグループを編成し、教科や時間の枠にしばられず、子どもの学ぶ過程に即した時間割で学ぶ小学校

○適応指導教室及びきらりルームの充実

- ・適応指導教室において、特別支援学級在籍児童生徒の受入れを行う。
- ・小学校2校（曙小，新涯小）に、新たにきらりルームを設置する。

(2) 子どもの安心・安全対策の充実

①福山市通学路交通安全プログラムに基づく対策の実施

「福山市通学路交通安全プログラム」に基づき、基本的に2年に1回、地域や関係機関・団体と連携して危険箇所を合同点検するとともに、連携して安全確保の対策を進める。

②避難訓練の実施

児童生徒自らが主体的に行動できる力を育成するため、休憩時間等に児童生徒が自らの判断で避難する訓練や予告無しに行う避難訓練を小学校、中学校及び義務教育学校で実施する。

(3) 教育上特別な配慮を必要とする子どもへの支援の充実

①スクールカウンセリングプロジェクト事業

児童生徒の不登校等の教育相談等について学校体制による取組を支援するため、学校相談員が、学校訪問、家庭訪問や交流会等の行事を実施し、担当する学校の教職員と一体となって取り組む。

②学校での欠席者への取組

欠席が多い児童生徒に対し、各学校は担任が中心となって家庭訪問を行うほか、適応指導教室等の関係機関と連携する中で登校に向け取組を進める。

また、欠席者が多い2小学校・6中学校の校内に教室以外の居場所として「きらりルーム」を設置し、生徒のペースで学習・体験活動を行うほか、専任の担任や学校相談員等が家庭訪問を行い、生徒や保護者の状況や希望に応じた取組を進める。

③特別支援教育体制推進事業

障がいのある児童生徒の教育の充実を図るため、特別支援学級に介助員、障がい児指導員及び看護介助員を配置するほか、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒について学校支援員を配置する。

発達障害及び言語障害にかかわる専門家が幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校への巡回相談を実施し、学校における発達障害等のある幼児、児童生徒への支援の充実を図る。

特別な支援が必要となる可能性のある就学前児童について、円滑に就学先の決定ができるよう、関係機関等との連絡調整や、情報収集等を行う就学相談員を配置する。

(4) 就学支援の充実

①就学援助

経済的な理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、入学準備費、医療費の一部を援助する。

また、2019年度（令和元年度）から国立、県立及び私立の児童生徒の保護者についても、支給対象とする。

【援助の状況】

(単位：人、%)

区分	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)
小学校	4,045 (15.9)	3,996 (15.8)	3,748 (14.9)	3,700 (14.7)	3,809(15.0)
中学校	2,324 (19.4)	2,234 (18.9)	2,251 (19.2)	2,163 (18.7)	2,065(18.2)
計	6,369 (17.0)	6,230 (16.8)	5,999 (16.2)	5,863 (15.9)	5,874(16.0)

※人数は準要保護認定者及び要保護対象者の合計。

() は、児童生徒に占める割合

②奨学金

有用な人材の育成に寄与するため、学習意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対して学資を貸与するほか、大学等への受験や入学が困難な青少年に対して大学等への進学を支援するため、受験資金や入学準備金を貸与する。

ア 福山市奨学資金（対象：大学・短大・専修学校等）

修学資金	月 額	国公立	40,000 円
		私 立	60,000 円
入学準備金	修学資金貸与決定者が対象		500,000 円以内

イ 誠之奨学金（対象：高校・高等専門学校）

奨学金	月 額	国公立	10,000 円
		私 立	20,000 円

ウ 福山市青少年修学応援奨学金（対象：大学・短大・専修学校等）

受験資金	受験前に貸付け	200,000 円以内
入学準備金	受験結果報告後（入学前）に貸付け	800,000 円以内

※卒業等の所定の要件により返還を免除する。

【貸付の状況】

（単位：人）

区 分		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
福山市奨学資金	新規貸付	23	25	23	21	25
	継続貸付	62	61	68	67	58
	計	85	86	91	88	83
誠之奨学金	新規貸付	4	7	3	5	6
	継続貸付	18	14	12	9	5
	計	22	21	15	14	11
福山市青少年 修学応援奨学金	受験資金			11	10	11
	入学準備金			11	12	11

◆福山市研修センター・福山市教育相談センター

学校教育における今日的課題を踏まえ、教職員の教科指導、生徒指導等の実践的指導力の向上及び社会と
その変化に対応する資質・能力の向上を図るための教職員研修事業や、教育相談事業の充実を図る。

【センターの概要】

名 称	福山市研修センター	福山市教育相談センター
所在地	引野町南一丁目 17 番 31 号	西町一丁目 26 番 6 号*
電話番号	084-943-5516	084-924-5556
開設年月日	1994 年（平成 6 年）4 月 1 日	2016 年（平成 28 年）4 月 1 日
開館時間	月～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 5 時	月～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
事 業	<p>①教職員研修講座の開催</p> <p>主体的に生きる力を育てる教育の推進と特色ある学校づくりをめざして、教職員のそれぞれの職務や経験、更には多様な今日的な教育課題に対応した、きめ細かい体系的な研修を実施し、教職員の資質や指導力の向上を図る。</p> <p>②研修環境の充実</p> <p>教職員研修等において、研修室等の施設及び教育機器を提供し、研修を促進する。また教育図書や資料を収集し、研修資料の充実を図る。</p> <p>③適応指導教室「かがやき（東部）」</p> <p>心に不安や悩みがあつて、学校（園）に行くことができない幼児、児童生徒に居場所を提供し、学校復帰のための集団活動指導や学習援助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設日：月～金曜日 ・ 時 間：午前 10 時～午後 3 時 	<p>①教育相談</p> <p>学校や家庭において、いじめ・不登校等様々な悩みをもっている幼児、児童生徒にかかわる教育相談を行う。</p> <p>②適応指導教室「かがやき（中央）」</p> <p>心に不安や悩みがあつて、学校（園）に行くことができない幼児、児童生徒に居場所を提供し、学校復帰のための集団活動指導や学習援助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設日：月～金曜日 ・ 時 間：午前 10 時～午後 3 時

※2019 年（令和元年）8 月 31 日まで。9 月 1 日からは北吉津町四丁目 13 番 5 号。

◆学校給食の状況 2019年（令和元年）5月1日現在

(1) 実施状況

区 分		総 数	完全給食			ミルク 給食
			単独調理場 方 式	共同調理場 方 式	親子方式	
幼稚園	幼稚園数（園）	10			11	
	園児数（人）	429			429	
小学校	学校数（校）	76	67	8	1	
	児童数（人）	25,033	23,482	1,546	5	
中学校	学校数（校）	34		7	17	10
	生徒数（人）	11,269		1,547	4,752	4,970
義務教育 学校	学校数（校）	1	1			
	児童数（人）	127	127			
	生徒数（人）	56	56			

※親子方式：親校（小学校）で調理した給食を子校（中学校）へ搬送する方式。

ミルク給食：ミルク（牛乳）を提供し、弁当を持参。

(2) 1食あたり給食費

幼稚園 255円（主食53円 副食146円 牛乳56円）

小学校 255円（主食51円 副食150円 牛乳54円）

中学校 290円（主食62円 副食174円 牛乳54円）

(3) 給食センター

名 称	福山市新市給食センター	福山市沼隈給食センター
所在地	新市町大字新市 885 番地	沼隈町大字下山南 1252 番地
電話番号	0847-52-5542	084-987-0380
開設年月日	1967年（昭和42年）2月 [2013年（平成25年）10月新築移転]	1967年（昭和42年）4月 [2001年（平成13年）3月新築移転]
延床面積	1,083.55 m ²	576.34 m ²
職員構成 (臨時職員含む)	所長1名, 栄養士2名, 技術員11名	所長1名, 栄養士1名, 技術員9名
調理数	2,117食 (内訳) 戸手保育所 102 網引保育所 53 常金丸小学校 156 網引小学校 273 新市小学校 209 戸手小学校 447 駅家中学校 399 常金中学校 64 新市中央中学校 414	1,380食 (内訳) 能登原小学校 64 千年小学校 344 常石小学校 78 山南小学校 112 松永中学校 336 精華中学校 116 千年中学校 211 至誠中学校 119